３．歴史文化の現況

（１）多久市の歴史文化

１）指定・登録文化財

多久市の指定・登録文化財は、全体で 48 件である（平成 29 年現在)。その内訳は、国指定・登録は 8 件（うち登録は 2 件)、佐賀県指定は 9 件、市指定は 31 件となっている。

国指定では重要文化財（建造物）2 件、重要有形民俗文化財 1 件、天然記念物 1 件、史跡 2 件、なお、「多久聖廟」は、重要文化財と史跡の両方の指定である。県指定では、重要文化財（建造物・出土品・書籍・絵画・工芸品）6 件、重要無形民俗文化財 1 件、史跡 1 件、天然記念物 1 件であり、市指定では、重要文化財 26 件、史跡 2 件、天然記念物 3 件である。

市指定重要文化財の内訳は、歴史資料 12 件、彫刻 5 件、建造物 4 件、工芸品 4 件、考古資料 3 件、絵画 2 件、書跡 1 件、他に、有形民俗文化財 1 件、無形民俗文化財 1 件である。

これらの所在が確定できる指定・登録文化財 48 件（多久聖廟は 1 件とする）の内訳は、多久町 18 件、次いで西多久町 9 件、東多久町 9 件、南多久町 7 件、北多久町 4 件となり、4 割近くが多久町に集中している。その中でも東の原、西の原の地区に 14 件集まっている。

また、全体の 5 割近くの 22 件が近世（安土桃山時代、江戸時代）のものとなっており、さらに 3 割にあたる 14 件が江戸時代前期（ほぼ 17 世紀）のものである。江戸時代前半は、まさに、多久地域の文化の華が開いた時期であると言ってよい。

資料 2-19　町別・時代別の指定・登録文化財件数の内訳

時代	東多久町	南多久町	多久町	西多久町	北多久町	多久市
旧石器･縄文時代					1	1
弥生・古墳時代	2	1			1	4
飛鳥～平安時代		1	2			3
鎌倉時代		1	3			4
室町時代	2	1	3	2	1	9
安土桃山時代			1			1
江戸時代	3	3	8	7	1	22(46%)
明治時代	2					2
大正時代			1			1
その他						1
計	9	7	18（38%）	9	4	48（100%）

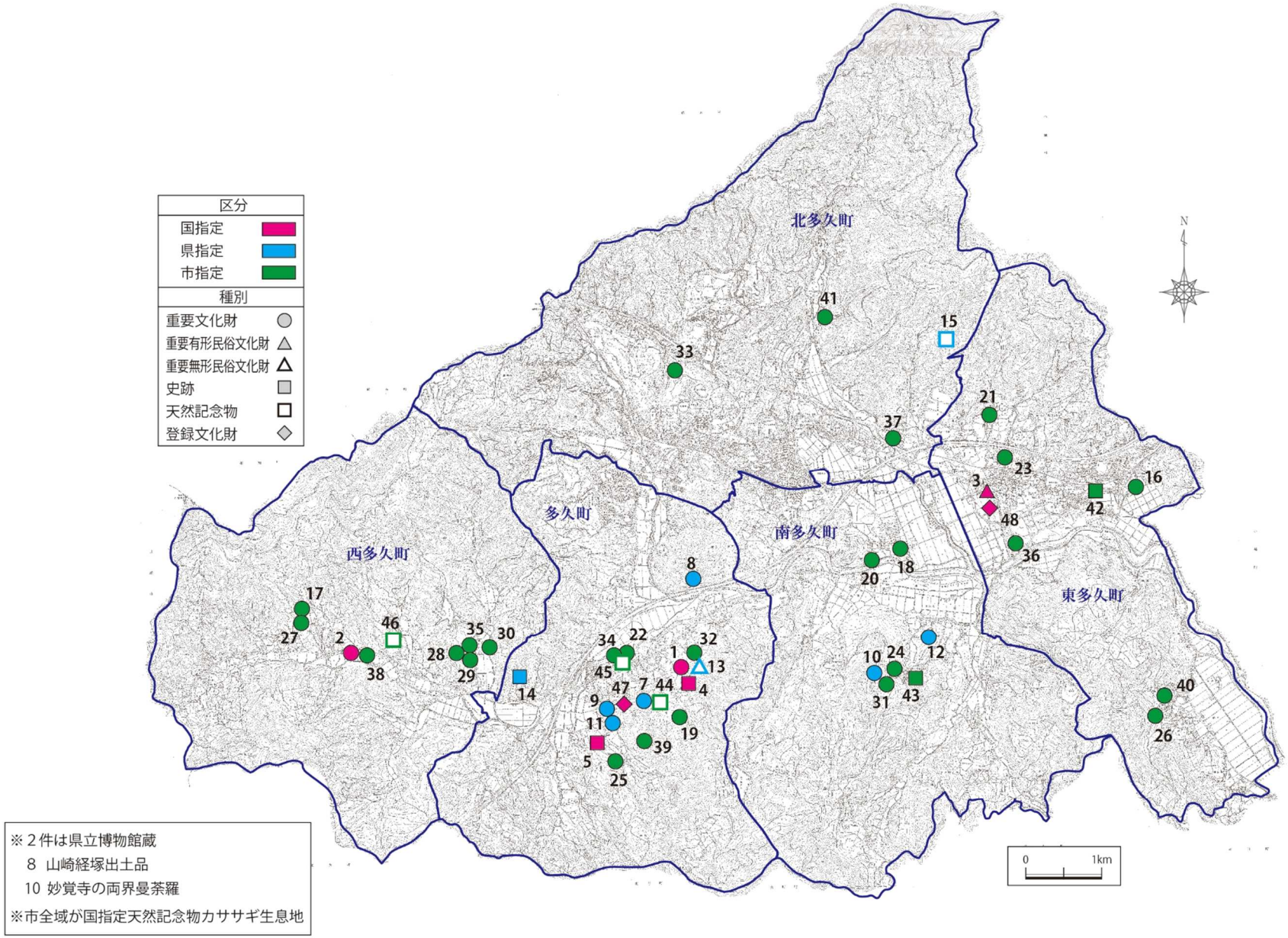
※多久市の合計にはカササギ生息地（国天然記念物）を含む。

なお、佐賀県立博物館に佐賀県指定文化財の 2 件（山崎経塚出土品、両界曼荼羅図)、多久市郷土資料館には県指定文化財の 3 件（多久家資料および後藤家文書、立葵蒔絵螺鈿箏、牟田辺遺跡甕棺墓出土品）と市指定文化財の 2 件　（内行花文鏡、大工田 6 号古墳出土遺物一括）の 5 件が所蔵されている。

資料 2-20　多久市指定･登録文化財一覧

（平成 29 年現在）

	位置番号	文化財の名称	種別	指定年月日	所在地
国指定（6件）	1	多久聖廟 附聖龕（S32）	重要文化財（建造物）	S8.1.23	多久町
	2	川打家住宅	重要文化財（建造物）	S49.2.5	西多久町
	3	肥前佐賀の酒造用具	重要有形民俗文化財	S63.3.25	東多久町
	4	多久聖廟	史跡	T10.3.3	多久町
	5	肥前陶器窯跡（唐人古場窯跡）	史跡	H17.7.14	多久町
	6	カササギ生息地	天然記念物	T12.3.7	全域
県指定（9件）	7	若宮八幡宮神殿	重要文化財（建造物）	S33.1.23	多久町
	8	山崎経塚出土品	重要文化財（出土品）	S34.3.20	多久町
	9	多久家資料及び後藤家文書	重要文化財（書籍）	S53.3.20	多久町
	10	両界曼荼羅図	重要文化財（絵画）	S59.3.21	南多久町
	11	立葵蒔絵螺鈿箏	重要文化財（工芸品）	H10.3.26	多久町
	12	牟田辺遺跡甕棺墓出土遺物	重要文化財（出土品）	H15.3.10	南多久町
	13	多久聖廟釈菜	重要無形民俗文化財	S55.3.21	多久町
	14	保四郎窯跡	史跡	S52.3.11	多久町
	15	相の浦の球状閃緑岩	天然記念物	S46.6.23	北多久町
市指定（31）件	16	石造六地蔵	重要文化財（彫刻）	S53.7.10	東多久町
	17	正善寺の紙本着色仏涅槃図	重要文化財（絵画）	S53.7.10	西多久町
	18	前多久家石造供養塔	重要文化財（歴史資料）	S53.7.10	南多久町
	19	石製先家君自安先生墓誌	重要文化財（歴史資料）	S53.7.10	多久町
	20	高野神社石造肥前鳥居	重要文化財（建造物）	S53.7.10	南多久町
	21	銅製鰐口	重要文化財（工芸品）	S55.1.28	東多久町
	22	少弐政資・資元の墓	重要文化財（歴史資料）	S55.1.28	多久町
	23	島原の乱戦死者供養碑	重要文化財（歴史資料）	S56.3.20	東多久町
	24	諫早墳	重要文化財（歴史資料）	S56.3.20	南多久町
	25	西の原大明神一字一石経一括資料	重要文化財（歴史資料）	S57.3.21	多久町
	26	両子神社の肥前鳥居	重要文化財（建造物）	S58.3.30	東多久町
	27	島原の乱女山多久家戦死者供養碑	重要文化財（歴史資料）	S58.3.30	西多久町
	28	龍造寺長信の逆修供養塔	重要文化財（歴史資料）	S61.8.19	西多久町
	29	円通寺の逆修六地蔵	重要文化財（彫刻）	S61.8.19	西多久町
	30	藤川内の観音講石祠	重要文化財（彫刻）	S61.8.19	西多久町
	31	妙覚寺の刻像青面金剛石祠	重要文化財（彫刻）	S61.8.19	南多久町
	32	青銅造孔子像	重要文化財（工芸品）	H1.2.28	多久町
	33	諸田賢順の墓	重要文化財（歴史資料）	H1.2.28	北多久町
	34	木造阿弥陀如来坐像	重要文化財（工芸品）	H2.3.2	多久町
	35	大応山円通寺山門木額	重要文化財（工芸品）	H2.3.2	西多久町
	36	内行花文鏡	重要文化財（考古資料）	H3.4.22	東多久町
	37	大工田6号古墳出土遺物一括	重要文化財（考古資料）	H6.3.18	北多久町
	38	森家住宅	重要文化財（建造物）	H8.3.29	西多久町
	39	青銅製雲版	重要文化財（工芸品）	H22.3.31	多久町
	40	百万遍念仏塔	重要文化財（歴史資料）	H22.3.31	東多久町
	41	弁財天石祠	重要文化財（歴史資料）	H22.3.31	北多久町
	42	古賀山１号墳	史跡	S53.7.10	東多久町
	43	皇塔（おおやけのとう）	史跡	S55.1.28	南多久町
	44	若宮八幡宮の三本杉	天然記念物	S53.7.10	多久町
	45	専称寺の大つつじ	天然記念物	S61.8.19	多久町
	46	正蔵寺のまき	天然記念物	H2.3.2	西多久町
国登録 2件	47	多久市西渓公園寒鶯亭	登録文化財（建造物）	H11.7.8	多久町
	48	木下家住宅	登録文化財（建造物）	H23.10.28	東多久町



資料 2-21　指定・登録文化財位置図

資料 2-22　多久市における指定文化財と登録文化財

		東多久町	南多久町	多久町	西多久町	北多久町	件数
原始	旧石器・縄文時代					県）相の浦の球状閃緑岩	1
	弥生時代	市）内行花文鏡 【市郷土資料館】	県）牟田辺遺跡甕棺墓出土遺物 【市郷土資料館】				4
	古墳時代	市）古賀山１号古墳				市）大工田６号古墳出土遺物一括 【市郷土資料館】	
古代	飛鳥～平安時代		県）両界曼荼羅図（妙覚寺） 【県立博物館】	市）木造阿弥陀如来座像（専称寺） 県）山崎経塚出土品【県立博物館】			3
中世	鎌倉時代		市）皇塔（妙覚寺）	県）多久家資料及び後藤家文書（～近世末） 【市郷土資料館】 県）若宮八幡宮神殿 市）若宮八幡宮の三本杉			4
	室町時代	市）渋木の石造六地蔵 市）百万遍念仏塔	市）前多久家石造供養塔 （延寿寺）	市）専称寺の大つつじ（専称寺） 市）青銅製雲板（専称寺） 市）少弐政資・資元の墓（専称寺）	市）正蔵寺のまき（正蔵寺） 市）龍造寺長信の逆修供養塔（円通寺）	市）弁財天石祠	9
	安土桃山時代			国）肥前陶器窯跡			1
近世	江戸時代	市）島原の乱戦死者供養碑（通玄院） 市）両子神社の肥前鳥居（両子神社） 市）銅製鰐口（妙海寺）	市）妙覚寺の刻像青面金剛石祠 （妙覚寺） 市）高野神社石造肥前鳥居 （高野神社） 市）諫早憤（妙覚寺）	県）保四郎窯 県）立葵蒔絵螺鈿箏【市郷土資料館】 市）青銅造孔子像 国）多久聖廟 附聖龕 国）多久聖廟 県）多久聖廟釈菜 市）石製先家君自安先生墓誌 市）西の原大明神一字一石経一括資料 （等覚寺）	市）島原の乱女山多久家戦死者供養碑 （正善寺） 市）正善寺の紙本着色仏涅槃図 市）藤川内の観音講石祠 市）円通寺の逆修六地蔵（円通寺） 市）大応山円通寺山門木額（円通寺） 国）川打家住宅 市）森家住宅	市）諸田賢順の墓	22
近現代	明治	国）肥前佐賀の酒造用具 国登録）木下家住宅（主屋・離れ・つなぎ屋）					2
	大正			国登録）多久市西渓公園寒鶯亭			1
計		9	7	18	9	4	47

２）主な祭り行事

市史では、全部で 26 件の祭り行事が挙げられている。

このうちもぐら打ちは 37 の行政区で現在行われている。論語カルタ大会は３つの義務教育学校にて回り持ちで、桜の花見も 3 か所（岩屋山渓桜公園・西渓公園・中央公園）で実施されている。

冬に開催される祭りイベントは、全国ふるさと漢詩コンテスト・七草がゆ・もぐら打ち、春は、桜の花見・高野神社春祭り・熱田神社春祭り・聖廟春季釈菜、夏は、聖光寺二千年ハス・専称寺大つつじ・諸田賢順を偲ぶ会・多久山笠・砂原二十三夜祭・岸川盆綱引き、秋は、論語カルタ大会・両子神社祭り・八幡神社秋季例祭・高野神社秋祭り・熱田神社秋祭り・聖廟秋季釈菜・孔子祭り・孔子の里紅葉まつり・多久八幡神社例大祭・七郎神社祇園祭・西多久ふれあい祭りなどとなっている。

①祭り行事

多久市内の主な祭り、行事は関連資料一覧の通りである。

祭りの件数は市全体で 291 となり、最も多い町は東多久町の 80、最も少ないのは西多久町 47 である。

行事の件数は市全体で 255 であり、最も多い町は西多久町の 59、最も少ないのは東多久町 44 となっている。

祭りと行事の件数を行政区別に概観すると、件数が多い行政区はほぼ重複しており（ただし、東多久町の一部の行政区を除く）、逆に催されていない行政区も重複しているといえる。

写真 2-36　多久山笠（北多久町）

写真 2-37　七郎神社祭り（西多久町）

写真 2-38　孔子祭り 腰鼓（ようこ）

写真 2-39　もぐら打ち

写真 2-40　釈菜（多久町）[県重無形民俗]

写真 2-41　釈菜の舞

写真 2-42　中国獅子舞

②郷土芸能

多久市史では、ヤーホーハイ（弥奉拝）、太鼓浮立、鉦浮立、面浮立、銭太鼓、女相撲甚句踊り、鍬踊りの７件をあげている。

開催場所は全体でみると偏在しており、市の東側・南側の市境に近い場所に多くある。また東多久町の南に８件と多久町の東の原・西の原の４件と集中している。

太鼓浮立は、東多久町裏納所・北坊・平林・大門、南多久町桐野、西多久町白仁田の６か所と最も多く、次いで女相撲甚句踊りの３か所となっている。

写真 2-43　ヤーホーハイ

写真 2-44　銭太鼓

写真 2-45　面浮立

写真 2-46　太鼓浮立

写真 2-47　鉦浮立